

でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

発行：きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）

南の交流会を終えて ～6月30日(木)大曲交流センター～

児童2名、保護者2名、担当者2名、センター職員5名の参加で、アットホームな交流会となりました。

【レクリエーション】

2つの活動に取り組みました。最初は「宝探し」。あみだくじ、パズル、計算問題・・・手紙に隠された暗号を次々に解き明かし、見事「宝物」を手にした二人。はじめは、少々ぎこちない様子でしたが、協力して暗号を解いたり、手紙を探したりして徐々に距離が縮まっていく微笑ましい姿が見られました。次は「トランプゲーム」。カードの数字で勝敗が決まる『戦争』は、二人でも十分に盛り上がりました。見守っていた担当者からは「よい交流ができた」「二人もいいね」との感想が聞かれました。

【保護者部会】

交流学級や家庭での様子について情報交換しながら、佐藤淳特別支援教育アドバイザーからの助言に熱心に耳を傾けていました。



難聴理解学習・難聴理解研修から

きこえとことば支援センターでは、センター的機能の一環として、県内各地の小中学校で児童生徒向けの難聴理解学習や先生向けの難聴理解研修を行っています。今年度は、7月現在でのべ12校におじゃましました。

難聴理解学習では、聞こえにくさの体験を通して、聞こえにくいとどんな気持ちになるか、聞こえにくい友達とどう関わったらいいのか、どんなことに気を付けて生活したらいいのかなどについて考えました。雑音がある中で耳栓をし、みんなで九九の7の段を言うという活動では「自分は4の段だと思って言っていたけど、途中でみんなが言っているのが7（しち）の段だと気付いて、みんなに合わせた」と発表してくれたお子さんがいました。聞こえにくい状態になっている先生に「焼き肉と寿司ではどちらが好きですか」と質問する場面では、身振りやジェスチャーを使ってもなかなか伝わらず、悪戦苦闘する様子も見られました。聞こえにくい人の気持ちや聞こえにくい人に伝える体験を通して、口元を見せる、文字や絵を書く、指で数字を表すなど、様々な伝え方があることや、話を聞くときは静かにすることが大事であることなど、たくさんのことに気付いたようでした。そして、そのように相手のことを考え、思いやりの気持ちをもって行動することは、聞こえにくい友達だけでなく、誰と関わるときでも大切だということにも気付くことができました。また、補聴器や人工内耳をしている児童本人が「こんな音は苦手」「こうしてもらえるとうれしい」等、自分の気持ちを直接伝えることで、周りの友達は改めて気付かされることもあったようです。

難聴理解研修では、聞こえや補聴器等についての研修や難聴擬似体験を通して、「『聞こえる』ことと『分かる』ことは違うことに改めて気付いた」「本人と話しながら、生活する中で必要な支援を考えていきたい」「文字で伝えることはどの生徒にも有効」等の感想を先生方からいただいております。

今後も様々な学習や研修のお手伝いをいたします。いつでもご相談ください。



夏の補聴器・人工内耳管理について

汗・水・熱、要注意です!!

補聴器や人工内耳のプロセッサ（以下補聴器等）は精密機器のため、夏場の汗や湿気、雨、水泳後の髪が濡れたままでの装用や保管、高温になる場所での放置などにより、故障リスクが高まります。意識して補聴器等を管理して、故障を防ぎましょう。

防水カバーや布サックの使用も効果があります。濡れた際には補聴器を拭いて、電池を外し、乾燥ケースに入れて乾燥させましょう。電池ボックスの中も綿棒などで拭きます。就寝前は、乾燥剤を入れた保管ケースでの保管を心がけましょう。

なお、プール利用時等の補聴器管理については、乾燥ケースに入れて教室や職員室などに置いたりして、職員目の届くところに保管しましょう。プールサイドは熱くなったり、水がかかる等の心配があったりするので注意しましょう。補聴器の管理について、聴覚障害支援ガイドの5ページに説明がありますので、ご覧ください。



○水遊び、水泳授業での配慮点

補聴器等を外しているときの聞き取りは、装用時とは違って難しくなります。そのため、次のような配慮が必要です。

- ・前もって教室で話せることは話しておく。
- ・モデルや文字で示すなど視覚的な情報で指示や学習内容を伝える。
- ・合図について事前に児童と確認しておく。

また、プール後に補聴器等を装用する前に、よく髪を乾かすように注意を促しましょう。

夏の担当者研修会・交流会のお知らせ



会場：全て聴覚支援学校（ ）：参加対象

◇8月4日（木）午前 自立活動研修会 ～ この後ご案内を送付します

「授業の中での自立活動的配慮～実際の指導場面を通して」というテーマで行います。どんな場面でどんな配慮をして何を育てるのか、具体的な指導場面から学びます。



◇8月19日（金）午後 聴覚障害教育担当者研修会

「聴覚障害教員の体験談から学ぶ」をテーマに講義を聞いた後、選択テーマ毎に話題提供（「英語の指導について」「自立活動の指導について」「言葉や表現を広げる工夫について」）と情報交換を行います。

◇令和4年度 手話研修会〔全3回〕

日時：1回目 8/22（月）13時30分～14時10分 内容：「日常生活や学校生活に関する手話表現」他手話が全く初めての方でも大丈夫です。楽しく、手話を学びましょう。気軽にご参加ください。

・7月30日（土）難聴児童交流会・補聴相談会（難聴児童とその保護者、担当者）

子どもたちは、レクリエーションで交流します。先生方にはその様子を参観していただきます。また、保護者の皆様には、情報交換を通してつながりをつくる機会にさせていただきたいと思っております。ご参加をお待ちしています。

・8月6日（土）一側性難聴児の集い（片耳が難聴のお子さんとその保護者、担当者）

子どもたち（小学生以上）は、ゲームを通して交流します。保護者と担当者の皆様には、成人当事者の体験談から、今後のお子さんへの支援等の情報を得たり、学んだりする機会にさせていただきます。

きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）【直通携帯電話】090-8784-6302

【聴覚支援学校】〒010-1409 秋田市南ケ丘一丁目1番1号

TEL：018-889-8572 FAX：018-889-8575 E-mail：chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp